みいけ主婦会

※原稿送り先＝大牟田市不知火町2丁目
三池炭鉱主婦会
※電話で知らせるとき＝市内3083・7140　炭鉱　474・528
※責任者＝文教部長　川畑[illegible]子

＝国民年金＝

届出拒否で延期を
塩谷社保事務局長にきく

拠出制国民年金の実施延期と内容改善を要求する国民の声は、六月以降、全国各地で急速にもりあがり、今では、社会党、共産党をはじめ民社党も実施延期の方針をうちだした。さらに、実施延期の声は、自民党の内部にまででているほどである。いま拠出制国民年金反対の闘いは十月からはじまっている届出時期を迎えて反対運動のいちばん大事なヤマ場にかかっているわけで、この反対運動のもりあがりは、社会保障闘争、全体を守勢から攻勢へ転じさせる鍵をにぎるものといえる。今後どのように拠出制国民年金反対の運動を闘っていくかを中心に社会保障推進協議会事務局長塩谷信雄氏（総評社保対部長）に聞いてみた。

話にならぬ内容

国民年金制度を考えるときいちばん大切なことは、〝働けなくなったとき、暮しがたたなくなったとき、生活を保障し、生活の負担を軽くするものかどうか〟ということ。今度の国民年金は、拠出制をたてまえとした保険積立方式をとり、一律定額の保険料を一定の積立期間かけたものだけが、年金をもらう資格があるというしくみをとっている。このしくみの基礎になっているのは、来年四月一日現在二十才の人を出発点として、その人に五十九才までの四十年間保険料をかけさせ、六十才になったら五年間すえおき、六十五才になったときから月三千五百円の老令年金を支給することを基準としたシステムだ。このシステムをもとにして、以下各年令ごとに、積立期間に応じて支給する年金額がすでにきめられている。つまり、定額保険、定期積立期間、定額年金支給という方式である。

この方式が果して社会保障といえるかどうか。（これでは貧乏でかけ金をかけられないもの、社会保障をいちばん必要とするものが、少ない年金しかもらえないことになる）ばかりか、全然かけられないもの（免除者）や、最低資格期間になっていないものは、七十才になったとき月千円しかもらえない、しかも途中で死亡すればかけ金はすべてパーになって一銭ももどってはこない。これが果して社会保障といえるだろうか。

無拠出制が必要だ

世界各国の年金方式をみても、こんな不充分な方式をとっている国はありません。社会主義の国は、労働者、国民のかけ金負担はいっさいなく、資本主義の国の中でもカナダ、ニュージーランド、ノルウエー、スエーデンでは、かけ金なしの年金制度をとって立派にやっている。保険積立方式をとっているところはなく、収入所得に応じてかけ金率がきまっている。一率定額、定期積立、定額年金などという方式を機械的にとっているのはありません。諸外国の年金制度で積立方式をとっているところでは、最低資格期間によって支給される年金額が、最低生活をやってゆける額になるようきちんときめられており、日本の拠出制のように、四十年で三千五百円というような、お話にならないやり方はとっていない。

わたしたちは、ボーダーライン層の生活者が一千二百万人もいるといわれる日本の現状での社会保障年金制度は、無拠出を原則とすべきだし、それこそが、今必要なことだと考える。

広まった反対運動

東京地評の全労働者を中核として運動を組織した新国民保険改悪反対闘争、全鉱、全炭鉱を中心にした職業病法制定額要求闘争などとともに、社会保障推進協議会にはいっている全団体をまきこんで闘っているこの国民年金闘争も、安保闘争の統一行動の経験のなかから、共通の問題を引きだして統一行動を組織できる段階へ高められている。社会保障推進協議会への単産加盟の積極化がみられる。労働組合の総意のあらわれた国民年金闘争での母親大会のもりあがり日農、全農連、開拓連など農民組織への浸透にはみるべきものがある。こうした力が政党や、学者文化人に力を与え全国民の闘いとして政府、自民党や厚生省を守勢へ追いやろうとしている。

まず、届出の拒否を

「悪いところは実施しながら直していく。とにかく実施することが大事だ」と厚生省は実施に持ちこもうとしている。十月からはじめられている届出と手帳交付は、年金制実施の第一歩となるわけだ。「この年金には反対だ」という意志を示すためには、この届出手帳受領をしないことが、なによりの方法だ。これがこの悪法の実施延期をさせる上で、大きな力になってゆく。

これまで六月以降九月までの調査段階を期としての運動は、「国民年金の内容を多くの人に知らせ、本ものの年金をつくらせる運動を拡大する」に目標をおき、運動を進めてきたこの結果、政府が選挙を前にして年金問題を大いに気にするような状態にまで各地の行動が国民運動の形態をとりはじめてきているといえる。

こんご、どう闘うか

「住民が届出、手帳受領を自発的に拒否できる体制をつくりひろめる」ことが先決問題だ。このために、いまなんといっても必要なことは、この拠出制年金の内容を、もっともっとたくさんの人に知ってもらうことである。全国各地の運動は進んでいるが、とくに、地方、農村地帯では全く自民党・部落ボスの思いのままにされているところが圧倒的で、政府・厚生省のねらいも、農村地区地方にある。反対運動は、都市中心におきているから、農村を重点に、早く届出体制をつくれといっている。したがって次の対策と行動を急がねばならない。

届出拒否などにあたっては、さる七月二十九日の統一陳情で厚生省から確保した。八月一日つき通達による「調査、届出については、たとえ拒否があっても罰則は適用しない」を活用してゆくべきだ。

当面の対策と行動としては、宣伝活動をひろめ、チラシ、ポスター、パンフを一戸一戸に入れるため地区労、社保協、単産、各団体の協力体制をつくること、反対署名二・〇〇〇万をめざし国会請願とする。職場、地域、町内、部落で説明会、研究会をつづける。これらを行動化できるように共闘体制の整備をはかっていこうと計画している。

三川支部主婦会のキツクボール大会　優勝杯をうける大谷分会

病床にありて

若葉分会　猿渡ハギエ

二百数十日に及んだ企反闘争も炭労大会の決定により事態収拾の運びとなり、現在東京で条件交渉が行われていますが、警官隊の暴力にも屈せず、堂々と闘いつづけた労働者の偉大なるエネルギーは、私たちの誇りとして一生消え去ることはないでしょう。

池田総理が低姿勢と、さかんにPRされていますが、諸物価の値上げはいったいどういう意味でしょう。

一万円生活の私どもの台所に、ショウユ、ミソ、鮮魚、野菜類、ストーブなど、またちかく電気料金や郵便切手類も値上げになるという声があります。

三池争議が「条件付事態収拾」となれば、そのうちに王子争議の責任者を追及するというありさま。

これが資本家の本性であり、反動政府のありかたです。池田のみがいかに低姿勢でも、荒木文相の高姿勢が池田反動政府の本来の姿であることは国民全部が知っています。よく知っています。

キツクボールの練習のつかればかりでなく、十年むかしのガン摘出手術後の全身のだるさや、いいようもないぐあいの悪さで床に横たわっていた私は、すぎし日のこと、闘争のこと、拒否者のこと、病気のこと、生活のこと、子供の将来のこと、さまざまのことを考えます。

その最中にラジオから臨時ニュースという。また炭鉱事故かと耳をかたむけていますと「浅沼社会党委員長暴漢におそわる」という声がつたわった。白昼しかも三党主立ち会い演説会場の公衆の面前で……。つづいて「救急車のなかで死亡！」とラジオがつげる。即死だ!!〝あーッ〟となった。私は思わず涙がでた。

ほんとうにくやし涙がでた。まだ鼻ッたれの青二才の少年がヒモにひかれていることも知らずに。

真の平和をさけび、ほんとうの独立をと訴えるものが何故殺されねばならないのか！このテロ行為の背後にあるものを私たちは知らねばなりません。

小学校四年生の二男坊が、けさ（十三日）六時ごろ目をさまして六年生の姉に「浅沼委員長を殺した奴のお母さんはどんな顔をしているか見たいね」といった。姉も「うん、見てみたいね。どんな顔をしているだろうね」

私はだまって聞いていましたがきのうのラジオを聞いただけで小学生さえそんな話をしています。

三十年むかしの私どもは、いまの子どもぐらいのおおきさでしたがこんな暗殺のあったことを憶えておられるかたもありましょう。

一獲千金を夢みる戦争屋どもがふたたびああなれがしとばかり謀議をかさねていることを、私どもは目を、耳をよくみひらき、けっして表面的なゴマカシに乗せられてはならないと思います真の独立、平和をとさけぶ私どもは、ほんとうに足を地につけてつねに意志の疎通をはかり、労働者としての誇りと団結をもって前進せねばならないと思います。

労働者の武器は団結です。団結しましょう。頑張りましょう。きょうも、また明日も。

信念をもって

向日葵分会　前田年子

今次の三池闘争で、私たちは国家権力の悪どい行為の下に、どれだけか血のにじむような苦しい闘いを続けてきました。あらゆる困難を乗り越えて、言にはいいつくせない闘いでありました。三鉱労組、主婦会の旗の下に闘ってまいりましたが、事態収拾の止むなきにいたり、指標でありました首切り撤回もむなしく政府や中労委の一方的なあっせんの仕業によって幾度びか涙を流し、くやしさに煮えたぎりました。私ども拒否者および家族にとって九月二十九日は本当にいまわしい日でありました二十九日、この日は生涯私たちの脳裏から消え去ることのない日です。一年有半の長期にわたる闘いに、会社と権力と生活に闘い、全国の働く仲間の御支援と共闘に感謝し、また組合員、主婦会の皆さまは拒否者の足となり手となり全力をつくしてホッパーで地域で命をかけて闘って頂きました。このことは、こんど私どもの苦難な生活に思い出させ、むち打って励ましてくれます。

寒い冬から、炎天こがき、また寒さが訪ずれて来ました。かずかずの思い出がつぎつぎと走馬燈のように浮んでは消え、またカンパ物資の山積、コークスの友愛配給、第二組合の結成を防ぐのにふるえた日、労働者でなくては味あうことの出来ないことばかりでした。

地域分会の皆さま、近所の方々の暖い思いやり心づくしに、拒否者の主婦である私どもは何一つ[illegible]心から感謝しております。[illegible]二度と指名解雇の汚名を三鉱労組の仲間に[illegible]最後までどこに働こうとも、信念をもってこれからも労働者の妻として、夫とともに頑張って行きます。

私はこの長い闘いの中で[illegible]支部で学んだ学習会が[illegible]

皆さま、近い将来にかならず勝利する[illegible]頑張りましょう。主婦会の発展を祈りつつ。

想像以上に評価
岩井事務局長が帰国

中国、ソ連、チェコ、東独、ベルギー、フランスの七カ国を訪問した岩井総評事務局長は、十四日午後三時五分羽田着のフランス航空機で帰国した。この訪問で岩井氏は、中国の周恩来、りゅう寧一とソ連では、グリシン、ブルガ、コフ（全ソ評議会筆頭書記）、世界労連グラッシ（ルイサイカン氏病気のためグラッシ書記長代理）の各氏と会見し、交流をふかめた。

帰国に際して、岩井事務局長はつぎのように語った。

岩井事務局長談　予定を変更して早く帰国したのは、フランスで浅沼氏が右翼のテロに倒されたことを聞いたからだ。外国では安保をはじめとする日本の労働者の闘いに対してわれわれが想像した以上の高い評価と注目をはらっている。社会主義国、資本主義諸国の労働組合が、それぞれ異つた条件の中で、労働者の利益のため真剣に問題にとりくんでいる姿をみてきた。これらの全世界の労働組合と総評とのみなさまは、今後ますます強力なものになって行くと信じている。

浅沼さんが殺されたニュースは非常な衝撃を各国に与えている。フランスでもイギリスでも新聞は一面トップに写真入りで報道し、二面も浅沼氏の経歴、事件の問題点、氏の一生の評価でうずまっていた。このニュースが世界をあ然とさせたのは事実だ。日本の動きに世界中が注目しているのを私はこの旅でハッキリ感じた。

【台所思いつき集】

葉っぱも美味

すてしまう野菜の部分もこうすればおいしくたべられます。

☆ナスのへた　皮をむいて内部のかたいシンをとり、ヌカみそにつけます。また、塩おしにしてミソづけやカラシづけにしても、おいしくたべられます。

☆ダイコンの葉　あたらしい葉をこみじんに切ってすこしの塩をふりかけ、それをサッと熱湯にとおしてかたくしぼり、バラバラにほぐしてご飯のたきあがりどきに入れ、しばらく蒸してからよくまぜますと、さっぱりしておいしい菜飯ができます。

☆にんじん、大根の皮　[illegible]

☆にんじんの葉　[illegible]

☆ごぼうの葉　[illegible]れますと、なかなかおいしいです。[illegible]

池田のウソ

（「牧場の朝」のかえ歌）

一　ただイツパイに　もりこんだ
新政策の　大ブロシキ
減税・保障費は　ウスッペラ
はたらく民から　たくましく
反対が燃える
イカン　イカンと